

IV. 文化振興

【基本目標】鴨川ならではの伝統文化・芸術の活用

市民一人ひとりがふるさとの文化や歴史、芸術を理解し、郷土愛と誇りを持って、心豊かな生活を送ることができるよう、鴨川市の貴重な文化財の保護・保全に努め、市民の文化芸術活動を支援するとともに、多様な文化・芸術に接する機会や活動成果の発表の場の拡充を図ります。文化芸術活動の拠点となる新たな市民ギャラリーの整備、また多目的施設の活用を図るとともに、潜在的な文化資源の掘り起こしに努め、文化・芸術活動への市民の参加を促進します。

IV-1. 文化・芸術の振興

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 文化・芸術の振興 ①文化団体の活動促進 ②鑑賞機会の充実
平成 28 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「ルノワール展鑑賞ツアー 事前学習会」(6月18日)、「ルノワール展鑑賞ツアー」(6月23日)、「ゴッホとゴーギャン展鑑賞ツアー」(11月29日)の開催。 ・「堅山南風素描展」(9月)、「江戸の狂歌摺物 北斎と俊満」(11～12月)、「横山大観 霊峰―特別公開―」(1月)の開催。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎鴨川市文化協会には 11 部門 250 名の会員が加入し、年間延べ 2,293 名が活動。日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,324 名が来場し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供し、2 回のツアーに合計 81 名、事前学習会に 16 名が参加。初めて美術展を鑑賞する市民を含め、幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料類の鑑賞機会を提供し、鴨川市における文化芸術を広く知らしめることができた。三つの企画展で合計 3,785 名の入館者(市内 1,819 名、市外 1,966 名)を記録。また企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が平均 85%を記録。 ◆高齢化に伴う協会員数の減少 ◆ツアー参加希望者の大幅増に対する対応の検討 ◆新しい分野を含めた開催テーマの設定と展示内容の検討
平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「北斎とジャポニズム展事前学習会」(11月7日)、「北斎とジャポニズム展鑑賞ツアー」(11月15日)の開催。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市所蔵作品展「吉田芳夫彫刻展」(9月)、「明治大正期の日本画展」(10～11月)の開催。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎鴨川市文化協会 10 部門 217 名の会員を中心に、市民の日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,042 点の出品と 1,133 名の来場者を記録し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供するツアーに 42 名、事前学習会に 19 名が参加。幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料・作品類の鑑賞機会を提供した。二つの企画展で合計 1,185 名の入館者(市内 749 名、市外 436 名)を記録。また二つの企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が平均 88%を記録。 ◆文化協会会員の高齢化に伴う協会員数の減少 ◆アート鑑賞ツアー参加者層の拡大 ◆収蔵資料・作品類の調査研究と有効活用の推進
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の活動の活性化への支援と協力 ・文化芸術の鑑賞機会の充実 ・市所蔵資料、作品類の有効活用を目的とした展示公開 <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 31 年度	<p>《 重点取組 》</p> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 32 年度	<p>《 重点取組 》</p> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

IV-2. 文化施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 文化活動の拠点施設の整備・活用</p> <p>①市民ギャラリーの整備 ②多目的施設の完成後の活用</p>
平成 28 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校校舎への移転 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した市民ギャラリー及び曾呂公民館の機能を旧曾呂小学校校舎へ移転するために、文化施設運営協議会を 4 回開催し、計画の策定に取り組んだ。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎専門的な見地から各委員の意見を徴し、アートを中心に据えた地域の交流の拠点となる施設整備に関する基本計画の骨子をまとめた。 ◆平成 28 年度の検討の結果に基づく、基本計画の策定

平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校校舎への移転 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリー及び曾呂公民館の旧曾呂小学校への移転整備計画案の再検討。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆遊休施設の有効活用及び事業仕分けの結果を勘案したうえで、今後の市民ギャラリーの遊休施設への移転や、郷土資料館・文化財センターなどの既存施設との統合などを視野に入れた整備計画の検討
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者の意見を参考にした計画の検討 <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 31 年度	<p>《 重点取組 》</p> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 32 年度	<p>《 重点取組 》</p> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【 5年間を総括した成果と課題 】	

IV-3. 歴史・文化の保全と活用

◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 指定文化財保護活動の支援と適正保護の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化財等の実態調査 ②文化財保護活動への支援 <p>(2) 市史の編さん、史・資料調査と保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市史編さんの継承 ②史・資料の保存と活用 <p>(3) 地域の歴史・文化資源の周知と有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の歴史・文化の理解促進
平成 28 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財等の保護管理に向けた調査 ・市史編さん事業の継続と活用の推進 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誕生寺祖師堂」を市の文化財に指定することを目的として、建築の専門家である市及び県文化財審議委員による現地調査を2回実施。 ・市史編さん委員会の開催（6、12、2月）とあゆみシリーズ他発刊物の頒布 ・「新収蔵コレクション～初めてのおひろめ」（7～9月）、「3Dデータで観る伊八と義光」（2～3月）の開催、年間を通じた市内外での講座等による、本市の歴史と文化の周知 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「誕生寺祖師堂」の文化財的な価値に関する、専門的な見地からの所見を得ることができた。その結果、指定への手続きを進めるための見通しを立てることができた。 ◎鴨川市史やあゆみシリーズなど85冊を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。

	<p>◎特別展、企画展の入館者 1,083 名、講座受講者 1,375 名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。</p> <p>◆市の文化財に指定する他の候補に関する調査推進</p> <p>◆あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業継続の方向性</p> <p>◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実</p>
平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財等の保護管理に向けた調査 ・市史編さん事業の継続と活用の推進 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 <hr/> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誕生寺祖師堂」の文化財指定に関する、文化財保護審議会への諮問 ・市史編さん委員会の開催（6、12、3月）と、『江見のあゆみ』発刊・あゆみシリーズ他、市史発刊物の周知と頒布 ・「輪廻のラグランジェ原画展」（7～9月）、「彫物大工・廻塚の伊八展」（12～3月）の開催、年間を通じた市内外での講座・解説会等による、本市の歴史と文化の周知 <p>【成果と課題】</p> <p>◎「誕生寺祖師堂」の指定に関する文化財保護審議会の答申を受け、市指定有形文化財に指定することができた。</p> <p>◎『江見のあゆみ』の発刊、鴨川市史やあゆみシリーズなど 208 冊(2月16日現在)を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。</p> <p>◎二つの企画展の入館者が 3,825 名（2月末現在）を記録したことにより、郷土資料館の入館料が 831,590 円（2月末現在）となり、過去 5 年間で最高値を記録した。</p> <p>◎市内外での講座受講者及び解説会参加者 2,167 名（2月末現在）を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。</p> <p>◆市指定文化財の候補「一戦場公園野馬土手遺構」や「嶺岡山野絵図」の指定に向けた取り組み</p> <p>◆古文書・史料類の適正保存と有効活用の推進</p> <p>◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実</p>
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財指定後の周知を目的とした説明板等の整備の促進 ・「嶺岡牧」シンポジウムの開催 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 <hr/> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 31 年度	<p>《 重点取組 》</p> <hr/> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
平成 32 年度	<p>《 重点取組 》</p> <hr/> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【 5 年間を総括した成果と課題 】	